

島原市報道資料

平成29年11月29日

報道関係者 各位

刈谷ハイウェイオアシスにおける島原半島PRイベントについて

標記の件について、別紙のとおり「刈谷ハイウェイオアシスにおける島原半島PRイベント」を開催しましたのでお知らせします。

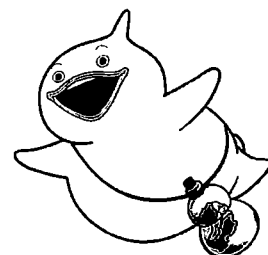
記

- 1 開催日時 平成29年11月25日(土) 9:30～15:00
11月26日(日) 9:00～14:00
- 2 開催場所 刈谷ハイウェイオアシス (デラックストイレ前広場)
愛知県刈谷市東境町吉野55番地
- 3 参加者 別添名簿のとおり
- 4 その他
 - ・島原半島PRイベントの詳細については別紙のとおり
 - ・イベントの写真については別添参照(写真データ提供可)

有明海にひらく湧水あふれる 火山と歴史の田園都市 島原



担当：島原市産業政策課 企業立地推進班 担当 田上
電話・0957-68-1111 (内線576)
E-mail . j-tagami@city.shimabara.lg.jp



島原守護神 しまばらん

刈谷ハイウェイオアシスにおけるPRイベント 参加者名簿

団体名	部署名	役職	名前	備考
雲仙市	産業部 観光物産課	課長補佐	伊藤 彰悟	
	産業部 観光物産課	参事補	鯨津 一哉	
	産業部 商工労政課 商工労政班	主査	城戸 祐司	
	産業部 商工労政課 商工労政班	主事	岩岡 愛	
南島原市	企画振興部 商工観光課 商工・企業誘致班	副参事	小関 克稔	
	企画振興部 商工観光課 商工・企業誘致班	主査	中山 真吾	
(一社)島原半島観光連盟		リーダー	福島 光一	
		マネージャー	田中 亜希	
(株)島原観光ビューロー		島原城七万石武将隊	松平 忠雄	役名
		島原城七万石武将隊	高力 忠房	役名
		島原城七万石武将隊	天草 四郎	役名
島原市	産業部 産業政策課 企業立地推進班	班長	田上 順一	
	産業部 しまばら観光おもてなし課 観光・ジオパーク班	班長	吉田 修三	
幸田町	企画部 企業立地課	主査	宮崎 真之介	島原市派遣職員

刈谷ハイウェイオアシスにおける島原半島PRイベント結果概要

- 1 参加者 島原市：2名
雲仙市：4名
南島原市：2名
（一社）島原半島観光連盟：2名
（株）しまばら観光ビューロー（島原城七万石武将隊）：3名
幸田町（島原市派遣職員）：1名
- 2 PRイベント内容
 - (1) 各市物産販売（2日間売上合計469,650円）
 - ・島原市：かすてら、チェリー豆等
 - ・雲仙市：とうふ蒲鉾、ちゃんぽん、湯せんぺい等
 - ・南島原市：島原手延べそうめん、南高みかん、五三焼きかすてら等
 - (2) 島原半島紹介ブース
 - ・（一社）島原半島観光連盟による、島原半島各市のポスター掲示、パンフレット配布等
 - ・紹介ブースに立ち寄っていただいた方々に、島原半島の観光名所や特産品などの説明を行い、島原半島旅びよりや、島原半島観光情報マップ等のパンフレットを配布するとともに、江戸時代からの西三河地区と島原との係わりなどについて説明を行った。
 - ※2日間でブース立寄者へパンフレット約500部配布
 - (3) 島原城七万石武将隊によるPR
 - ・島原城七万石武将隊3名（松平忠雄、高力忠房、天草四郎）による演武などを行いながら、江戸時代からの西三河地区と島原との係わりについて紹介しながら、島原半島のPRを行った。

西三河地区との関係と「刈谷ハイウェイオアシス」でのPR活動について

西三河地区と島原の関係は、江戸時代に遡る。島原藩主の「松平忠房公」は、1619年、吉田藩（現在の豊川市）初代藩主である松平忠利の長男として吉田城で生まれ、1632年に家督を継いだ。が、まもなく三河刈谷（現在の刈谷市）に移封されました。1649年、丹波天田郡・何鹿郡などに1万5000石を加増されて4万5000石で丹波福知山（現在の福知山市）に加増移封されました。そして、1669年、島原領3万8300石に2万7600石を加増されて6万5900石の上で肥前島原に加増移封されました。

また、松平家は、代々深溝城主として深溝（現在の幸田町）を治めていた。松平家の菩提寺として、深溝本光寺（現在の幸田町）があり、島原藩主になったあとも代々深溝本光寺に葬られています。

島原藩と西三河地区は島原藩主の松平家と関係が深いということもあり、平成29年4月から幸田町へ島原市職員を1名派遣しており、企業誘致を主な担当業務としながら、幸田町をはじめ、西三河地区の各市との情報交換を行っております。

さらに、本年10月には、松平家ゆかりの幸田町と島原市においては、姉妹都市の提携を締結しました。

そこで、島原藩と深い関係がある西三河地区に島原半島として、3市（島原市、雲仙市、南島原市）が共同でPRを行ない、島原半島の魅力を知っていただき、観光をはじめとする多方面での交流を盛んにすることを目的として、年間来場者数1,000万人を超える「刈谷ハイウェイオアシス」において3市合同でのPRイベントを行いました。